

報道関係各位

2025 年 7 月 8 日
第一園芸株式会社

銅版画で描かれた二十四節気の花絵と新解釈の花ことば
第一園芸のオウンドメディア「花毎」の人気連載『二十四節気の花絵』が書籍化
～第一園芸の店舗・オンラインショップでも 7/17（木）より販売開始～

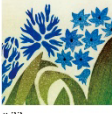
花と緑に関する事業を展開する第一園芸株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：山村勝治、三井不動産グループ）は、一般社団法人 家の光協会（本社：東京都新宿区）より、第一園芸のオウンドメディア「花毎（はなごと）」の人気連載『二十四節気の花絵』を書籍化した『銅版画で愉しむ 二十四節気の花ことば 英訳付き』を 2025 年 7 月 17 日（木）に発売します。



2018 年 2 月にスタートした、第一園芸が運営する WEB メディア「花毎（はなごと）」は、「花が毎日の暮らしに寄り添い、心が豊かになること」を提案する第一園芸のオウンドメディアです。
本サイトの人気コンテンツ『二十四節気の花絵』は、イラストレーター・水上多摩江さんによる描き下ろし作品で構成され、開始以来 130 話を超える連載となっています。
このコンテンツでは、各節気にあわせて選ばれた花を銅版画で表現し、節気とその花にまつわる物語に合わせて、新たな解釈による花ことばを創作しています。

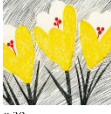
■二十四節気の季節感をていねいに解説

二十四節気とは、太陽の動きをもとに一年を 24 等分した暦です。古代中国で考案され、飛鳥時代から奈良時代にかけて日本に伝わり、江戸時代には農事暦や生活の目安として広く用いられるようになりました。文学的な表現として捉えられがちですが、天文学的な根拠に基づいているため、現代の暮らしにも役立つ実用的な暦です。コンテンツでは、それぞれの節気の意味や、その時季に行われる行事なども紹介しています。



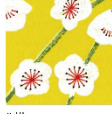
ハ.22
【花期】3月～4月（切り花用花期は1月～3月）
【香り】あり
【学名】*Hyacinthus orientalis*
【分類】キジカクシ科ヒヤシンス属
【別名】ヒヤシンス、観音草（しょうしん・はやしん）、観音草（しょうしん・はやしん）、観音草（しょうしん・はやしん）、観音草（しょうしん・はやしん）
【英名】Hyacinth
【産産地】ギリシャ、シリア、小アジア

Hyacinth
Season: March to April
Fragrance: Yes
Scientific name: *Hyacinthus orientalis*
Classification: Family - Asparagus, Genus - *Hyacinthus*
Also known in Japan as: Fichinshi, Yawsonen, Nishikigumi
Origin: Greece, Syria and Asia Minor



ハ.20
【花期】1月～4月（9月～3月12日までの間に）
【香り】なし
【学名】*Crocus*
【分類】アヤ科サフラン属
【別名】ハナサフラン
【英名】Crocus
【産産地】地中海沿岸地方、小アジア

Crocus
Season: February to April
Fragrance: No
Scientific name: *Crocus*
Classification: Family - Iridaceae, Genus - *Crocus*
Also known in Japan as: Hana-Sufuran
Origin: Mediterranean southeast and Asia Minor



ハ.18
【花期】1月～3月
【香り】あり
【学名】*Prunus mume*
【分類】バラ科サクラ属（クワス属）
【別名】春告草（はるつげ）、観音草（はるつげ）、サクラ（はるつげ）、寒風草（はるつげ）
【英名】Japanese apricot
【産産地】中国

Japanese apricot (Ume)
Season: January to March
Fragrance: Yes
Scientific name: *Prunus mume*
Classification: Family - Rosaceae, Genus - *Prunus*
Also known in Japan as: Harunagagusa, Koushougusa, Koushougusa
Origin: China

I. Risshun Beginning of Spring
(Between February 1st and 14th)
Risshun is the first of twenty-four seasonal subdivisions (Sekki) that marks a new year.
The initial part of this name literally means "to stand," implying the start of a new season. This occurs in early February when people in most parts of Japan just start to feel the warm weather approaching. However, 24 Sekki is based on the movement of the sun, its angle and the length of the day, so there are scientific and practical thoughts incorporated.
Traditional homes attach paper amulets onto the entrance. Its text reads "Happy Beginning of Spring," but at the same time the characters are clearly symmetrical, displayed in the typical vertical format. The demons that try to go inside get confused whether this is the front door or back, and hopefully turn back.

■花の特性に基づく新たな花ことば

花ことばは、17 世紀のオスマン帝国に端を発し、19 世紀のヨーロッパで広く流行したといわれています。現在でも当時に作られた花ことばが多く使われていますが、本コンテンツではそれに加え、花の特性や姿から導き出した新たな花ことばを創作しています。各植物が持つ文化的背景や歴史にも触れながら、花についてより深く知ることができる読み物としてもお楽しみいただけます。



Winter daphne (Jinchouge)

沈丁花 (しんていげ)
幸福の香り
冬ことば
沈丁花はその香りのよから金木犀、くちなしとともに、三大芳香木のひとつに選ばれています。沈丁花の別名である「金木犀」、その香りが七里（約7.5km）先まで届くという意味でこの香が「一般の沈丁花の花ことばは「幸福」や「不死」などです。沈丁花の香りのダフネに由来する月桂樹の花ことばから、不幸は避けてお過ごしください」と由来している。沈丁花は香りが、どちらかといえば、香りとはいえない花ことばです。しかし、二大芳香木のひとつに選ばれている沈丁花の最大の魅力は、身近な場所でもその香りを伝えることができる点ではないでしょうか。また、立春に描き込まれたように、新しい春の始まりを告げる沈丁花に、幸福の香りという、よき春を願う花ことばを贈ります。

Fragrance of Happiness
Winter daphne or jinchouge, fragrant olive or kiamokusei, and gardenia or kichinshi make up the three aromatic trees in our country. Jinchouge is also called shuchinsho, which literally means that the fragrance reaches places that are 16 miles away. The historical language of flowers for jinchouge is "glory" and "immortality." The former is derived from "daphne" part of

the scientific name, which directly refers to laurel tree. The latter may come from the evergreen nature of jinchouge. However, I strongly believe that the most notable characteristic of it is its fragrance. For the flower that tells us the arrival of the long-awaited season, I will give the language of "fragrance of happiness."



Japanese anemone (Shūmei-giku)

秋明菊 (しゅうめいぎく)
本心の私
冬ことば
一般的に花ことばは、淡い色で「忍耐」「静けさ」「愛」などを表しますが、これはギリシア神話に登場するアネモネ神話に由来していると考えられます。アネモネが、フロアの犬である四頭の神ゼウスに見初められ、結局ゼウスによって花に変わってしまった。再びゼウスがアネモネと再会すると、その風で花は散ってしまふ。しかし、秋明菊はアネモネの一種ではあるものの、その性質はかなり異なっています。見た目の印象からと付けられ、花ことばはアネモネの散る物のようにですが、本来の性質は散るに見えませんが、実は見た目に比べて強さを秘めている秋明菊には「本心の私」という花ことばが似合うように思われます。

My True Self
"Emotional attachment," "patience," and "fading love" are typically given to this flower, which is thought to stem from the myth of the anemone in Greek mythology. Anemone was a servant of Flora, the goddess of flowers. Anemone was loved by Flora's husband, Zephyrus, the god of the west wind, but was turned into a flower by the jealous Flora when she found out about the affair. When the wind visits, the flower falls.
The local name for Japanese anemone is "shūmei-giku," which implies the visual association with chrysanthemums, and the common floral language comes from anemone. Its true nature is very tough, in spite of the sleek appearance. The new meaning that I give, "my true self," is to capture the multiple characteristics that this flower has.

■書籍化を記念して店頭でのプレゼントキャンペーンを実施

今回の書籍化を記念し、対象店舗で本書をご購入いただいた方、または 3,300 円（税込）以上、商品をお買い求めいただいた方に、本書に登場した作品をポストカードにして、3 枚セットでプレゼントいたします。

<プレゼントキャンペーン概要>

■内容

第一園芸店舗（DAIICHI-ENGEI、BIANCA BARNET）にて、3,300 円（税込）以上お買い上げの方に『二十四節気の花絵』オリジナルポストカードセットをプレゼント。



■期間

2025 年 7 月 17 日（木）～（なくなり次第終了となります）

■対象店舗

DAIICHI-ENGEI（日本橋店、伊勢丹新宿店、三越日本橋店、三越銀座店、田園調布店、東京倶楽部ビル店、ゲートシティ大崎店）BIANCA BARNET（東京ミッドタウン日比谷店、横浜ベイクォーター店）

第一園芸オンラインショップ（<https://www.daiichi-engei.co.jp/>）

*第一園芸オンラインショップでは、本書をお求めの方のみに、ポストカードを同梱いたします。

■著者紹介

石川恵子

第一園芸「花毎」クリエイティブディレクター。デザインシンクタンク、消費財メーカーのインハウスデザイナーなどを経て、2011 年第一園芸株式会社入社。装飾緑化、商品企画などを経て、2018 年 WEB サイト「花毎」を立ち上げ、花の楽しさ、喜びを伝える活動を行う。

水上多摩江

イラストレーター。東京生まれ。中央大学文学部哲学科卒業後、セツ・モードセミナーに通う。銅版画家の岡田まりゑ氏に銅版画を習う。雑誌、装画、PR 誌、カレンダーなどのイラストレーション、個展、グループ展多数。装画の仕事に、江國香織著「薔薇の木琵琶の木檸檬の木」（集英社）、角田光代著「八日目の蟬」（中央公論新社）などがある。2018 年から「花毎」の「二十四節気の花絵」を連載。

■花毎（はなごと）

第一園芸が運営する「花を知り、楽しむ」ためのオウンドメディア。二十四節気の季節感とともに花にまつわるコンテンツを通じて、丁寧で上質な暮らしの楽しみ方を提案しています。

<https://www.hanagoto.daiichi-engei.jp/>



■書籍概要

書名：『銅版画で愉しむ 二十四節気の花ことば 英訳付き』

<https://www.ienohikari.net/book/detail/1447>

仕様：A5 判（横開き 149×210mm） / 208 ページ / ソフトカバー

定価：本体 2,200 円（税込）

ISBN：9784259568436

発売日：2025 年 7 月 17 日

著者：石川恵子（文）／水上多摩江（絵）／東知憲（訳）

発行元：一般社団法人 家の光協会

■書籍に関するお問い合わせ

一般社団法人 家の光協会

〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町 11

TEL：03-3266-9028

<https://www.ienohikari.net/>

※書籍のお貸出し等をご希望の場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

第一園芸株式会社 ブランド推進部 石川

Tel：03-6404-1501 / Mail：info_pr@daiichi-engei.co.jp

■第一園芸株式会社 概要

第一園芸は、花と緑のプロフェッショナルとして創業 127 年を迎える、三井不動産グループの企業です。店舗やオンラインショップでの個人/法人向け商品の販売、婚礼装花、オフィスビルや商業施設などの都市緑化や公園・庭園などの造園・管理を手がける緑化事業、季節の空間装飾事業など、幅広い事業を展開しています。今後も第一園芸は花と緑に囲まれ豊かで潤いのある、そして持続可能な社会の実現を目指して挑戦しつづけます。

所在地：東京都品川区勝島 1 丁目 5 番 21 号 三井物産グローバルロジスティクス勝島 20 号館

代表者：代表取締役社長 山村勝治

創業：1898 年（設立 1951 年）

資本金：4 億 8 千万円

株主：三井不動産株式会社（100%）

《本件に関する報道関係からのお問い合わせ》第一園芸株式会社 ブランド推進部 石川

Tel：03-6404-1501 / Mail：info_pr@daiichi-engei.co.jp

URL : <https://www.daiichi-engei.jp/>

公式 Facebook : <https://www.facebook.com/daiichiengei/>

■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024年4月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取り組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】

- ・「グループ長期経営方針策定」 <https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>
- ・「グループマテリアリティ」 https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/
- ・「& EARTH for Nature」 <https://www.mitsuifudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/>